

## ● 百日咳の流行にご注意ください ●

現在、百日咳（ひやくにちぜき）の患者数が全国的に増加しています。

年長児や大人でも激しい咳が長く続き、6か月未満の乳児では呼吸困難から命を落とす、または重い後遺症を残すケースも報告されています。

百日咳の予防には、ワクチン接種が非常に重要です。

※乳児には、生後2か月を迎えたら速やかに5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）の接種を。

※妊婦の方（妊娠後期）には、3種混合ワクチン（DPT）接種が推奨されており、赤ちゃんを守る移行抗体の獲得が期待できます。

※就学前（5～6歳頃）のお子さまには、3種混合（DPT）ワクチンの任意接種（実費）が有効です。

※11～12歳のお子さまには、定期の2種混合（DT）に代えて3種混合（DPT）ワクチンの任意接種（実費）が有効です。

ご家族や乳児と接する方すべてに予防接種の確認・追加接種をおすすめします。

🔵 百日咳はワクチンで防ぐことができる感染症です。  
ご家族全体で予防接種の確認をお願いします。

ご不明な点や接種のご相談は、受付またはお電話にてお知らせください。

八木小児科